# Remarkable's Race の使い方

mtabe STUDIO

2025/4/17 mtabe@mtabe.com



#### **AS IS = 現状渡しです**

本システムは無料で利用できる期間を設けております。その期間でお手元のハードウエアでの動作確認や利用予定のイベントへの適合などについての確認をお願いします。ライセンス購入後の返金等の対応は受け付けておりません。また機能追加やアップデート要望などはFaceBookにて受け付けておりますが、必ずしも対応するものではありません。上記につきましてご理解いただいた方のみご利用のをお願いします。

#### ライブタイミングサービス、ネットリザルトサービスについて

本サービスはインターネットを利用しています。

計測PCのインターネットネット接続が必要です。

(インターネット接続サービスはライセンス料に含まれません)

サーバメンテナンスのためAM2:00~AM6:00(JST)までは利用できないことがあります。

緊急メンテナンスのため予告なくサービスを停止することがあります。

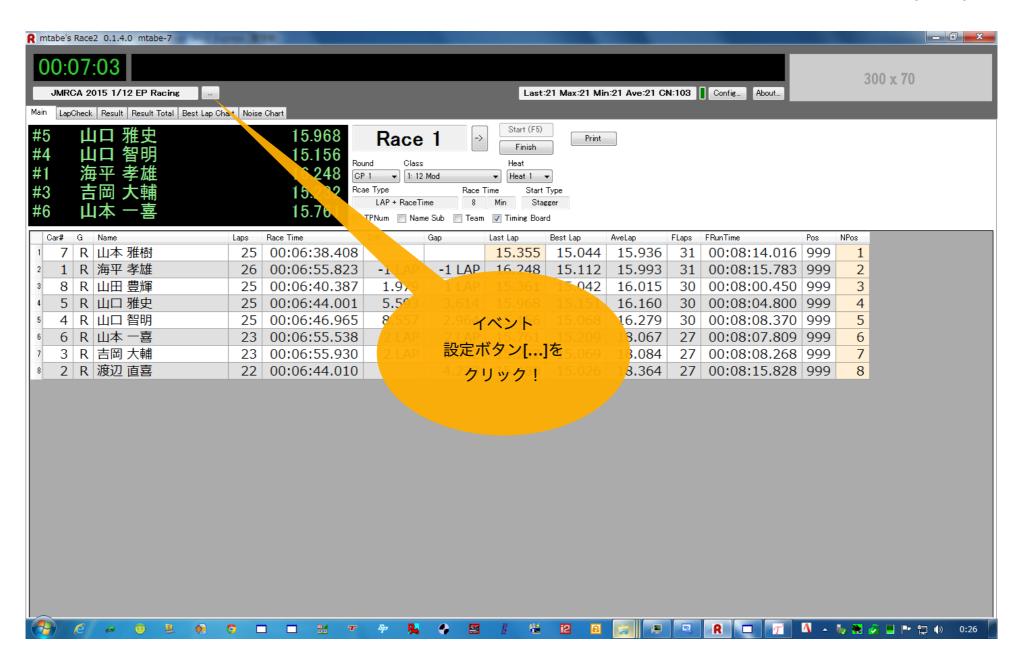
### 本システムはライセンス管理や各種サービスのために管理サーバへラップタイムなどのデータやPC識別子を送信しています。

サーバへのデータ送信を行っているため、アンチウイルスソフトウエアに誤ってウイルスと誤認識される場合があります。警告やアプリケーション削除などのが発生する場合は(監視対象からの)除外設定をお願いします。 アプリケーションの動作が遅い場合も除外設定を行うと改善される場合があります。

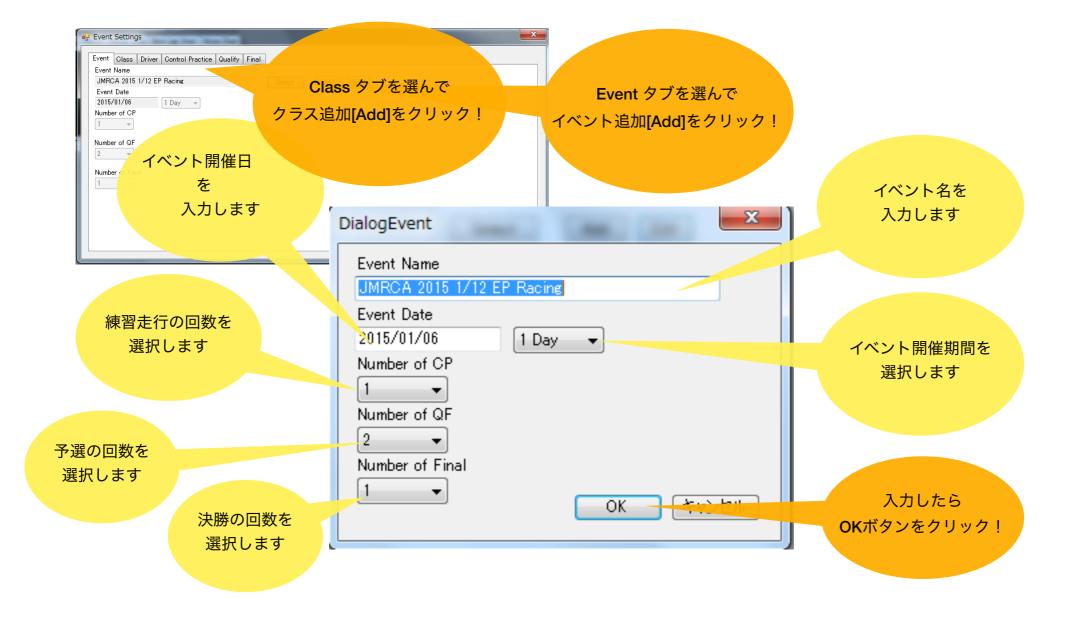
#### 準備は簡単!



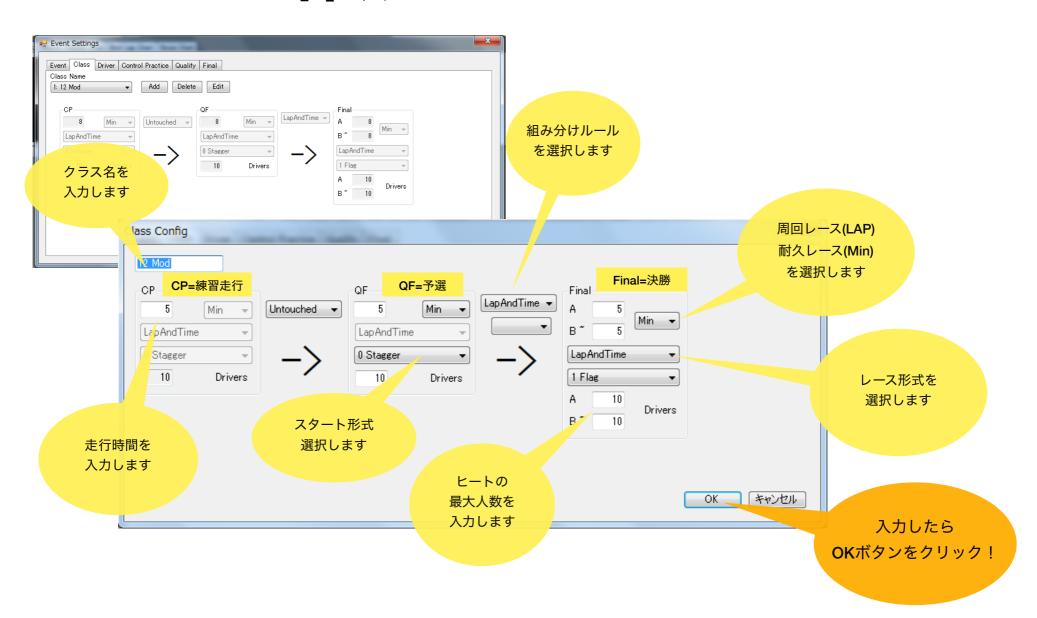
- 1.イベント作成
- 2.クラス作成
- 3.ドライバー登録



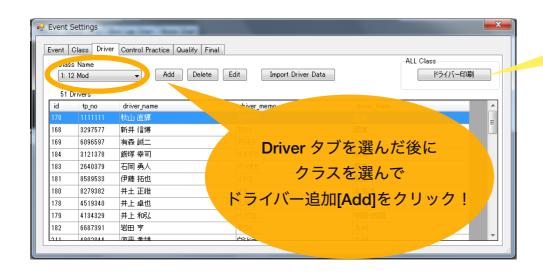
## 1.イベント作成



## 2.クラス作成

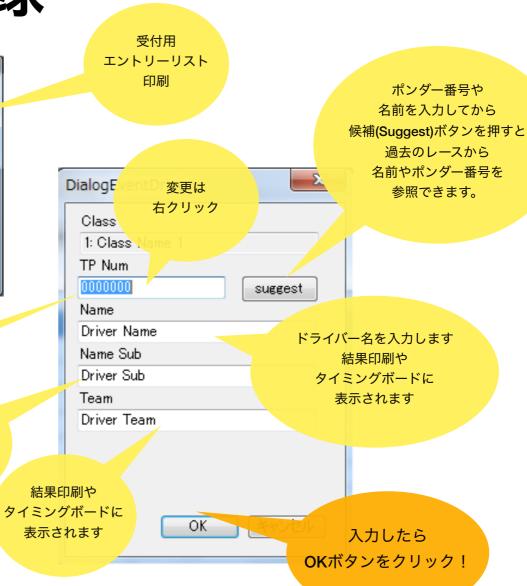


## 3.ドライバー登録



ポンダー番号を 入力します

計測画面に 表示できます ふりがな向け

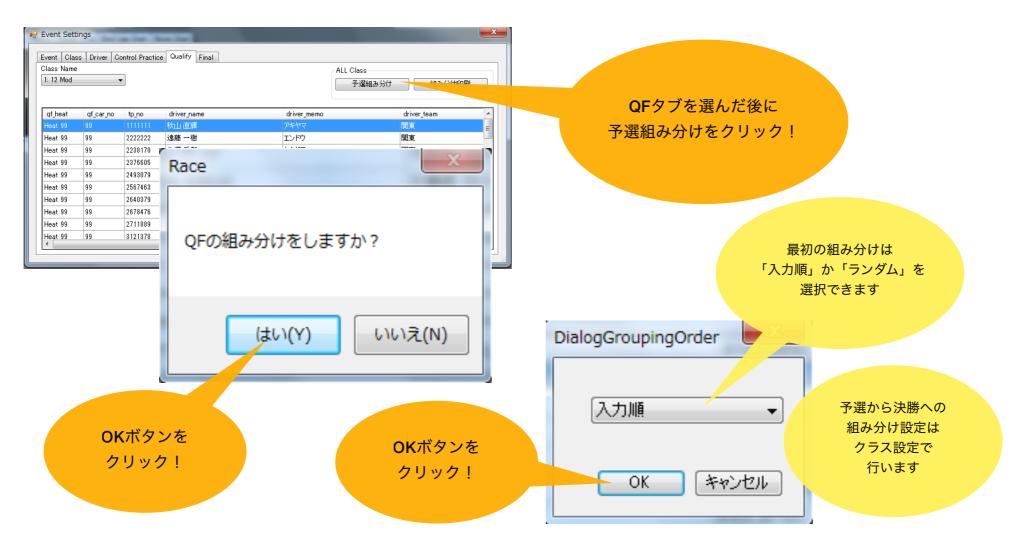


#### Raceをはじめよう!

- 1. 組み分け
- 2. レーススタート
- 3. レース画面解説
- 4. レース終了~ヒート結果印刷
- 5. 結果·総合結果印刷



### 1. 組み分け



予選組み分けが終了したら、イベント設定画面を閉じてください

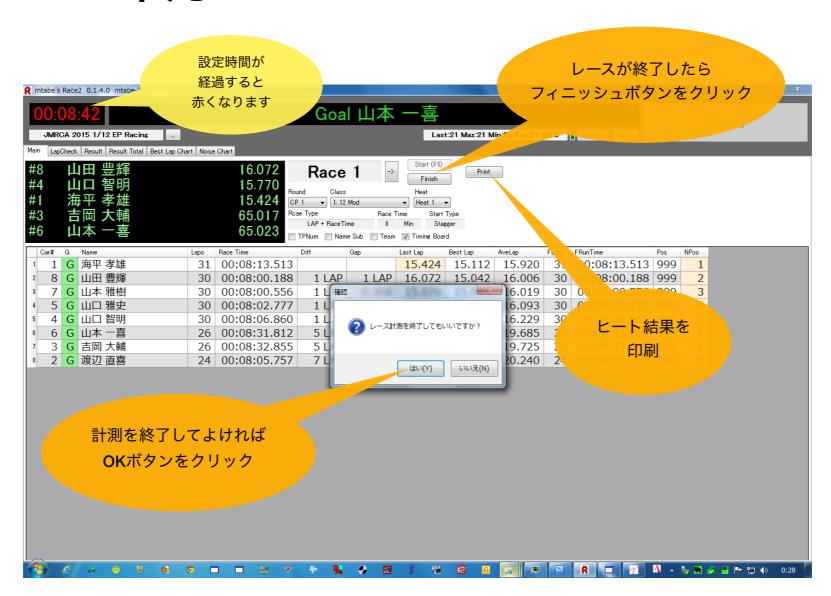
#### 2. レーススタート



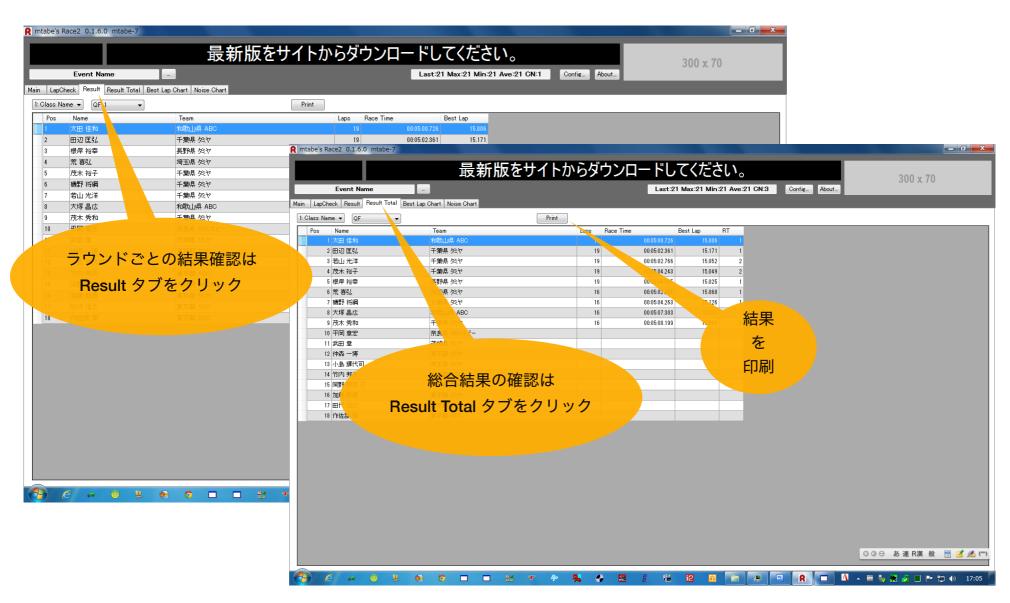
#### 3. レース画面解説



### 4. レース終了



### 5. 結果·総合結果印刷

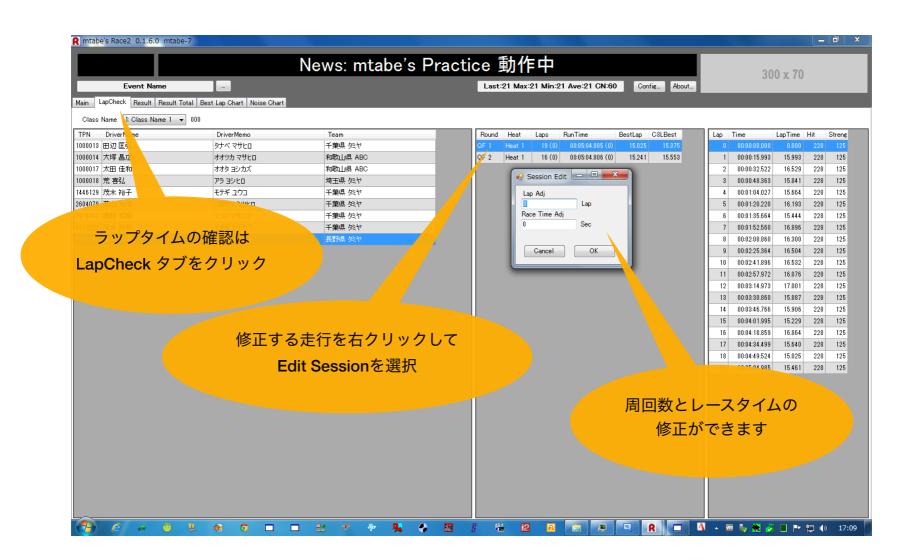


#### **APPENDIX**

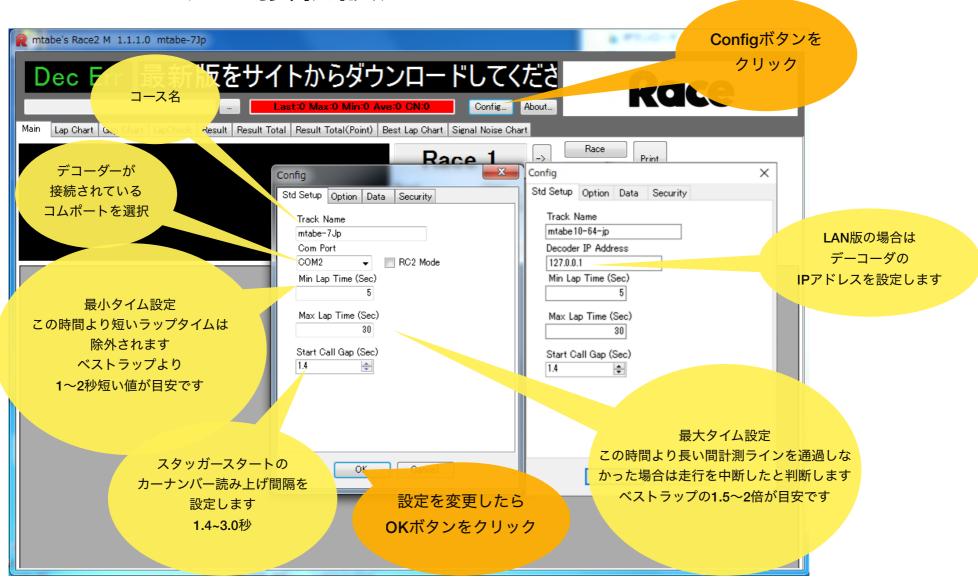


- 1. 周回数、タイム修正
- 2. デコーダー接続設定
- 3. ドライバーデータインポート
- 4. ベストラップ チャート
- 5. ギャップ チャート
- 6. シグナルノイズ チャート
- 7. イベントコピー、削除
- 8. 手動組み分け
- 9. ファイル構成
- 10. ネットリザルト ライブタイミング

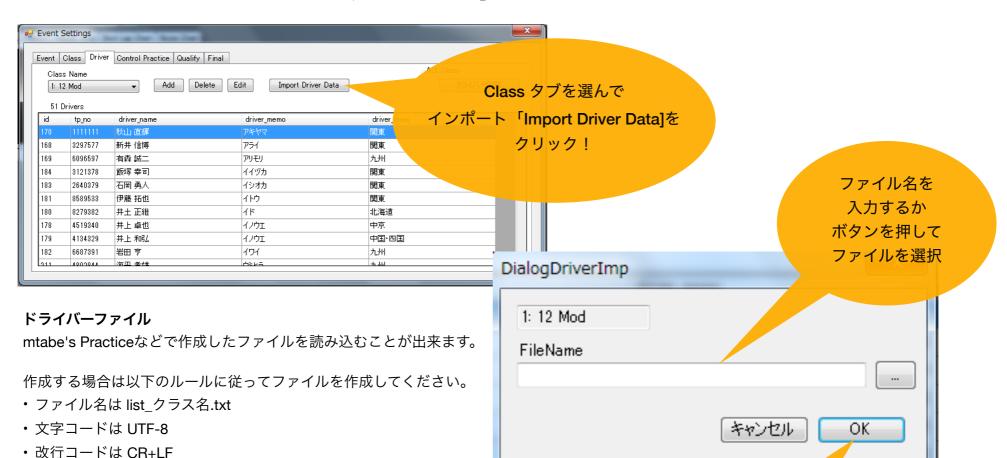
#### 1. 周回数、タイム修正



#### 2. デコーダー接続設定



#### 3. ドライバーデータインポート



1行に以下の順番で記入してください。

トランスポンダー番号

・区切り文字は TAB

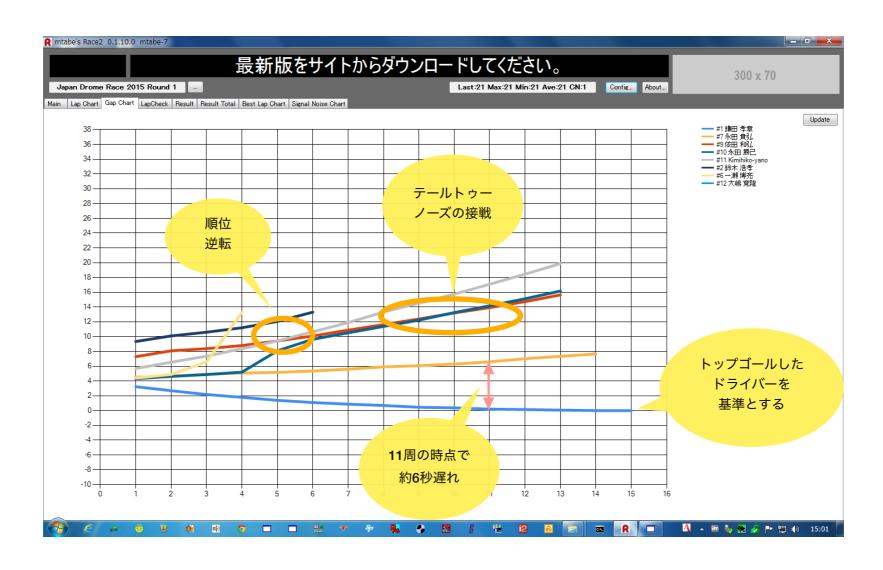
- ドライバー名
- ・ドライバー名(フリガナ)
- チーム名

OKボタンを クリックすると インポート開始

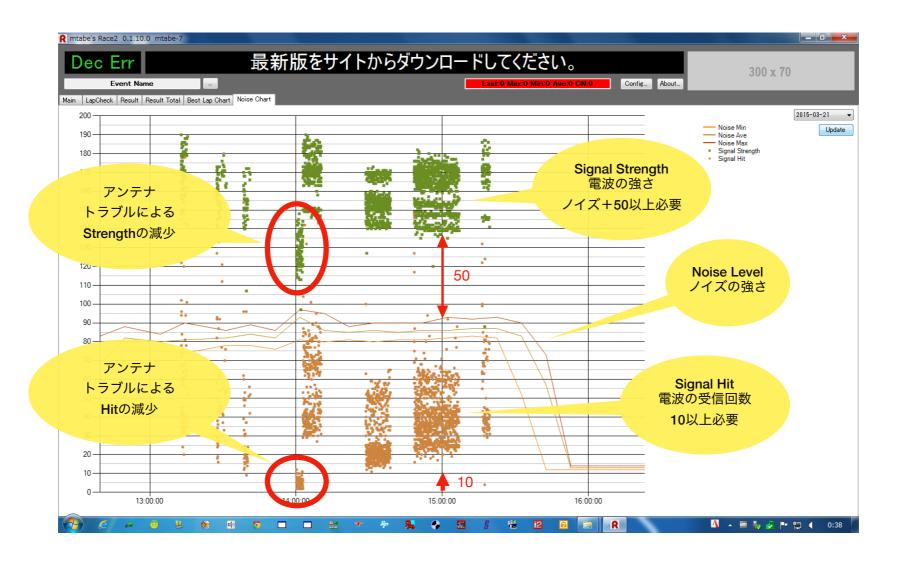
#### 4. ベストラップ チャート



#### 5. ギャップ チャート



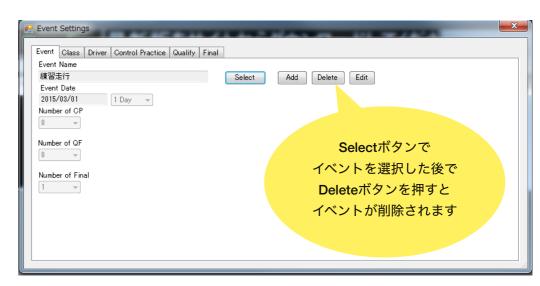
#### 6. シグナルノイズ チャート



#### 7. イベントコピー、削除



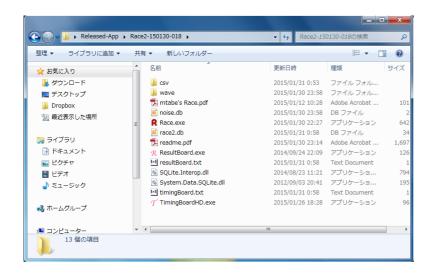
DialogEvent	イベントと クラスの設定が
Event Name 練習走行 copy	コピーされます。 ドライバーは新たに
Event Date 2015年 3月 1日 🔲 🔻	登録する必要があります
Number of CP  0  Number of QF  0	
Number of Final	OK キャンセル



#### 8. 手動組み分け



#### 9. ファイル構成



インストーラーはありません。

Zipファイルをお好きな場所に展開してください。

設定後にファイルを移動すると設定が初期化される場合があります。 使用開始後はファイルを移動しないでください。

.Net Framework4.0ランタイムをインストールしてください。

exeファイルを実行すると計測システム本体が起動します。

- Mylaps版 RaceM.exe
- Mylaps LAN版 RaceML.exe
- 京商IC-TAG版 RaceK.exe

ResultBoard.exeを起動すると総合順位、

TimingBoard.exeを起動するとお客様向けの計測画面が表示されます。 液晶テレビなどに接続してご活用ください。 計測システム 本体

総合結果が表示される お客様向け大画面**TV**用

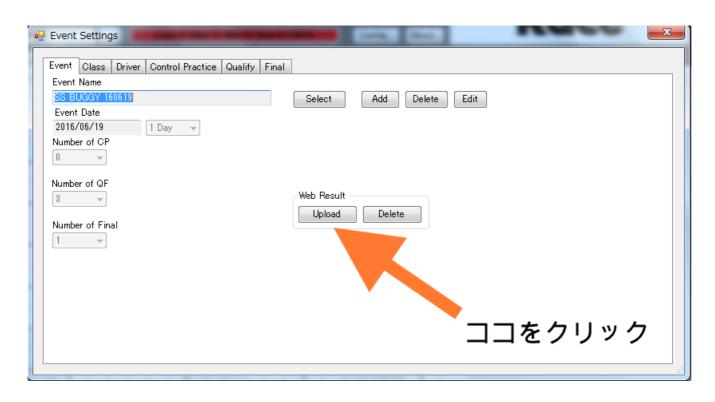
計測画面が表示される お客様向け大画面TV用







#### 10. ネットリザルト ライブタイミング



- ・印刷済のレース結果をネットにアップロードできます。
- Live.mtabe.comで確認できます。
- ・イベント設定画面のアップロードボタンをクリックすると結果が送信されます。
- ・ライブタイミングはTiming Boardを起動すると自動的に更新されます。 (ライセンスの登録が必要です)





#### mtabe's Race ではできません

- ・同じクラスでの同一ポンダーの使用
- ・バンド管理

特別なイベントを除いて ほとんどの参加者が 2.4GHzなので この制約を生かして 勝ち上がりや飛び入り参加が 簡単にできる仕組みに なっています。





## mtabe's Race できました

#### バージョンアップで対応済

- ・スタッガー読み上げ間隔の調整
- ・残り時間を通過音より優先して再生
- ・イベントコピー削除機能
- ・ラップチャート、ギャップチャート、シグナルノイズチャート
- ・手動での組換え
- ・ポンダー番号の変更
- ・スタート画面でのHitとStrengthの確認
- ・過去のエントリーデータからのドライバー入力
- ・スタートのポポポ音

- ・ネットでのライブ中継
- ・ネットへのリザルトアップロード
- ・RC2デコーダーへの対応
- ・ポイント制の予選
- ・予選途中での再組み分け
- ・デコーダーとのLAN接続

New!



## mtabe's Race ではまだできません

- ・複数回決勝での結果集計
- ・ベストラップ修正
- 計測ラインをまたいだスタート





耐久レースのレース時間は24時間まで(1440分)

周回レースの周回数は9999ラップまで

計測は可能ですが表示に問題が発生します

1ヒートの最大人数は20人まで

20人以上も計測可能ですが印刷や表示が正しく行われない恐れがあります

スタッガースタート時の読み上げは10人まで

1クラスの最大人数は150人まで

ポイント形式の予選の場合に正しく集計できません

CPの回数は3回まで、QFの回数は10回まで、Finalの回数は3回まで